

ふくい社会福祉

ふれあいネットワーク

9
No.394



温故知新 ～一途に社協道～

生きものがもつ力

大門動物病院
副院長 大門 由美子 さん（福井市）

ストレスを感じることが多い現代社会では、癒しを求めてペットと暮らす人が増えてきています。

ペットは人間の寂しさや、疲れた心を和ませてくれます。そして、人間の生活を豊かにしてくれる人生のかけがえのないパートナーとしての役割を担っています。

本院は、公益社団法人日本動物病院福祉協会の認定病院であり、CAPP（アニマルセラピー）活動を積極的に行っています。

主に動物介在活動で飼い主（ボランティア）と共に高齢者施設などを訪問し、動物の持つ温もりや優しさにふれていただくことを目的としています。

訪問する動物はセラピー活動に必要な一定の基準をクリアしており、ふだんはそれぞれの家庭で家族と幸せに暮らしています。

年間を通して高齢者施設への訪問活動を行っていますが、すべての利用者の方が動物好きだとは限りません。しかし、私たちが訪問することにより日常では見られない変化があるようです。

最初は「犬は嫌い」と言って触ることを拒んでいた方が触れるようになり、私たちが何うのを楽しみにして下さっていたり、動物との触れ合いがきっかけで、全く声を発することがなかった利用者さんが声を発するなど、良い結果もが出ています。回を重ねるごとに、私たちにも利用者さんの変化を感じながら、成長させてもらっています。

施設の方から「みなさんが来てくださると利用者さんの表情が明るくなり、とても楽しそうです。毎日関わっている私たちには見せてくれない表情が出ることもあります。

動物は言葉を話さないけれど、人間にはかなわない素晴らしい力があります。動物を介して広がるコミュニケーションはまさに無限です。

今後も活動を通じて、アニマルセラピーの理解と広がり貢献していきたいと思えます。



表紙の企画について

様々な人たちの目線から「地域のつながり、人とのつながり」に関するメッセージをいただいています。



この広報紙は共同募金の配分金を受けています。

の輪」推進運動実施中！

をつなぐ「おかげさま」と「お互いさま」の輪～

福井ミラクルエレファント戦で推進運動をPR！

7月14日（日）、BCリーグの福井ミラクルエレファント戦で、来場者にチラシや風船、つながりの証としての「つながりリング」を配り、「つなぐれボランティアの輪」推進運動をPRしました。

始球式では、福井県ボランティアセンターのマスコットキャラクター「ランティアー」が登場し、見かけによらない力投を見せ、「おお～」と会場にどよめきがありました。

また、来場の皆さんが、試合中、つながりリングを身に付けてくださり、会場の皆さんと一つにつながる一体感を感じることができました。



ランティアーによる始球式



球場でのPR活動

つながりの証「つながりリング」

「つなぐれボランティアの輪」推進運動の各事業に参加いただいた皆さんには、つながりの証として「つながりリング」をお配りしています。



つながりリング

ふくい・つながりフォーラム2013準備中

期 日 11月2日（土）

会 場 福井県生活学習館（ユニー・アイふくい）

内 容

- 1 式典イベント（福井県社会福祉大会表彰式、ボランティア作文コンクール表彰式）
- 2 金澤 泰子さんによる講演会と金澤 翔子さんによる書のパフォーマンス
- 3 つながりイベント（エコキャップアートコンテスト等）



ふくい・つながりフォーラム2012

障害者総合支援法制定・老人福祉法施行50周年を記念したイベントもあります。ぜひご参加ください！！

ボランティア作文コンクールにご応募ください

広く県民から、ボランティアに関する作文（800字以内）を募集しています。優秀な作品は、11月2日（土）に開催される「第60回福井県社会福祉大会」で表彰します。

応募締切 9月17日（火）必着

応募部門 小学生の部、中学生の部、高校生の部、一般の部

作文のテーマ

- 1 ボランティア活動の経験から得たこと・感じたこと
- 2 ボランティアについての自分の思い・考えていること



「つながれボランティア」

「つながれ80万人のボランティアの輪」～県民

サマーボランティア体験 2013 実施中

今年度は158の活動プログラムに、452名（8月8日現在）の方が参加されています。毎年プログラムを提供いただいている介護老人保健施設ケアホーム・さいせい（福井市和田中町）を訪問して、サマーボランティア体験の様子取材させていただきました。

この日は、北陸高等学校2年生の濱中愛有実（福井市）さんがサマーボランティア体験をされました。濱中さんは、祖母が大好きで、将来は介護福祉士など高齢者福祉の仕事をしたいと思っているそうです。

通所リハビリにいられたお年寄りの方のために、レクリエーションのお手伝いやお年寄りの話し相手などをされました。

体験の感想を聞くと、「会話が続かなくて少し困りましたが、おばあちゃんと話をするのがとっても楽しかったです。」とうれしそうに答えてくれました。また、「今後もボランティアに参加してみたいですか？」との質問には、「してみたいです！」と爽やかに答えてくれました。

また、ケアホーム・さいせいでボランティアの受入れを担当されている、支援相談員の鈴木魅保さんにお話を伺いました。

Q どんなきっかけでプログラムを出そうと思われましたか？

A 10月の秋祭りで施設開放をしたりしていますが、なかなか外部の方に知っていただく機会が少ないので、この施設のことを知っていただくきっかけになればという思いからです。

Q サマーボランティア体験の参加者の印象はどんな感じですか？

A 学生の方でボランティアは初めてという方が多く、始めは緊張されますが、体験が終わってから感想を聞くと、楽しかったと言われるので、良い経験になっているのではと思います。

Q サマーボランティア体験の参加者にアドバイスをお願いします。

A 例えば、「利用者の方と話をしたい」「施設の様子を知りたい」など、ボランティアでやりたいことの目的を持って来てもらえればと思います。事前に目的を聞いておけば、こちらも、それに沿ったボランティアを用意できます。

また、この体験をきっかけに定期的にボランティアに参加したり、福祉の仕事に興味を持ったり、当施設にとっても、参加者にとっても、この体験を通していろいろなきっかけづくりになれば良いなと思っています。

鈴木さんは、ボランティアの担当を始めたばかりだそうですが、こちらの質問に一つ一つ丁寧に答えていただき、ボランティアの受入れに熱心に取り組んでおられる様子がうかがえました。

今後、サマーボランティア体験に参加された皆様が、体験を通して、いろいろなきっかけにつながっていけばと期待しています。

サマーボランティア体験 2013は、9月末まで実施しています。

みなさんもボランティアの“はじめの一步”踏み出してみませんか？



東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会報告

去る7月25日(木)～26日(金)「平成25年度東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会(福井大会)」が「実践・科学的介護!担おう、地域を支える介護力!」をテーマに福井市において行われました。主催は、福井県老人福祉施設協議会、福井県デイサービスセンター協議会、福井県社会福祉協議会、東海北陸ブロック老人福祉施設協議会、福井県社会福祉協議会、東海北陸ブロック老人福祉施設協議会、全国老人福祉施設協議会、東海北陸ブロック6県1市より、福祉施設職員をはじめとする関係者1,300名が集まりました。



開会式にて福井県老協 荒木会長挨拶



福井県の西川知事来賓挨拶



第3分科会の様子

1日目の全体会は福井市のフェニックス・プラザにて行われ、主催である福井県老人福祉施設協議会荒木博文会長が「東海北陸ブロック内では福井、石川、岐阜、愛知の4県で介護力向上講習会分校版が取り組まれています。福井では、受講施設全てがおむつゼロを達成することを宣言致し、ゆくゆくは県内加盟施設全てがおむつゼロを達成できるように科学的介護の実践は、ご家族、地域の方々への信頼の証となり、福祉

で働く私たちの地位向上へつながると確信しております。この2日間でも様々な知識を得て、持ち帰っていた「だいたい」と挨拶。来賓として本県の西川知事と開催地の東村市長からご挨拶をいただきました。その後、全国老人福祉施設協議会天野尊明事務局長が「新成長産業としての介護」と題して基調報告を、また、国際医療福祉大学大学院の竹内孝仁教授が「科学的介護の実践」エビデンスに基づく「科学的介護」をテーマに記念講演を行いました。

竹内教授は、「きちんとした根拠がある介護」を実践してほしい。実践している介護職が本当の意味で専門職化していくことに科学的介護の優れた点があります。」と講演されました。

2日目は「科学的介護の実践に向けたケア体制構築(経営・人材)」「科学的介護/リハビリテーション・口腔ケアの実践」「科学的介護/根拠に基づいた自立支援の実践」「科学的介護/認知症ケアの実践」「科学的介護/看取りケアの実践」「居住型福祉施設(軽費・ケアハウス)の使命と実践」「養護老人ホームの重度化予防の取り組みの実践」「戦略的在宅介護サービスの実践」の8つの分科会に分かれて事例発表・質疑応答を行いました。

中でも、第3分科会では、「科学的介護/根拠に基づいた自立支援の実践」に関して5つの発表が行われ、助言者の竹内教授からは「介護は今のままではいけない。地位・待遇を向上させるためには、介護力が必要。介護力向上講習会などで勉強し、自分が行っている介護の理論・根拠を話せる職員の育成をしていただきたい。」と科学的介護の必要性を強調されました。



夏のおもてなし体験スクール

平成 25 年 8 月 4 日 (土) 三国サンセットビーチにて体験スクールが開催されました!!
 天候にも恵まれ、サーフィンや海の生き物の観察などを体験し、お昼はみんなでバーベキューを楽しみました♪
 これからも楽しい企画を計画していきますので、みなさま奮ってご参加ください☆

参加者 大人：14名、小人：8名



新横浜保育園
津田様

夏休みの思い出づくりに、家族4人で参加させていただきました。家族だけでは出来ない体験ができて、子供たちも、私自身も楽しませていただきました。

親子が別々の体験に参加してもスタッフの方がしっかりサポートして下さるので安心してお任せできました。

また、他の参加者の方と体験を通じて自然と仲良くなり交流を持つことが出来て、歳の離れたお兄さん、お姉さんが子供たちと一緒に遊んで下さる時もあり、本当に楽しい一日でした。ありがとうございました。



すみれ荘
前川様ご家族

父に誘われ、弟と3人で参加しました。初めて体験するサーフンは、最初は難しかったけど、最後には上手にできて良かったです。

海の生物観察では、箱メガネを使って、カニや魚を見たり、新しい発見が沢山あって勉強になりました。

今日は、普段できない体験ができてとても楽しかったです。また、このような体験に参加したいと思いました。ありがとうございました。



ソウェルクラブ 平成 25 年度会員交流事業のご案内

今年もソウェルクラブでは観劇日帰り旅行を実施致します。
 今回は、宝塚歌劇 100 周年記念ステージ「DREAM, A DREAM」
 宝塚劇場から飛び立った永遠のスターたちと見る、今ひとたびの夢の世界をご覧ください。
 皆様からの多数のお申込みをお待ちしております。



日時	場所	金額
平成 25 年 11 月 9 日 (土)	梅田芸術劇場 (大阪)	通常 24,000 円 ▶ 8,000 円 (チケット、バス、昼食、夕食代金込)

お問合せ先 福井県社会福祉協議会 総務企画課内 ソウェルクラブ事務局 TEL : 0776-24-2339

身近な地域で職探し

事前申込不要
参加費無料

ふくしジョブ・ミニパーク ～地域型ミニ面談会&講座～

身近な地域で福祉の仕事をお探しの方、資格があるのでもう一度働きたい方、そんなあなたを今、必要としています。事業所の方と直接面接できますので、ぜひご参加ください！

	会場	住所
坂井地区	平成 25 年 9 月 5 日 (木) 13:00～ 15:30 ※面談開始 13:30～	坂井地域交流センターいねす 情報ロビー (坂井市坂井町蔵垣内 34-14-1) (TEL: 0776-72-7600)
奥越地区	平成 25 年 9 月 13 日 (金) 13:00～	多田記念大野有終会館 305、306 号室 (大野市天神町 1-19) (TEL: 0779-65-8766)

内 容

- 職員採用予定のある社会福祉施設・事業者との個別面談コーナー
- 福祉の仕事・資格なんでも相談コーナー、ハローワークコーナー
- あなたに合う仕事探し応援コーナー
 - 事業所担当者からのPRタイム
 - ※参加事業所の申込状況により、内容を一部変更する場合があります
 - 面接対策コーナー 13:00～13:30

福祉の仕事のお助け隊 コーディネーター（専門員）がお近くへお伺いします。

福祉のお仕事

移動相談会のお知らせ

県内各地で、福祉の仕事に関心のある方、福祉分野への就職や転職をお考えの方、職員の職場への定着について悩みのある施設・事業所の方などを対象に、コーディネーター（専門員）が相談をお受けします。この機会をぜひご利用ください。

事前申込
不要

無料
相談会

平成 25 年度 日程・会場

日程・曜日・時間	会場	住所
毎週火曜日 13:00～16:00	武生西公民館・別館 1階講義室	越前市中央 2 丁目 8-16 ハローワーク武生南側
毎週金曜日 13:00～16:00	大野市職業訓練センター 2階第 2 研修室	大野市中狹 1-1601-1 「J A テラル越前」前

お気軽にご相談ください。

個人向け支援（職業相談・求人紹介・資格取得・キャリアアップ）
事業所向け支援（人材紹介・求人広報・人材確保・人材定着）

嶺南地区 移動相談会 9 月実施！

日程・曜日・時間	会場	住所	内容
9 月 26 日 (木) 13:30～16:00	小浜地方合同庁舎 4階会議室	小浜市 後瀬町 7-10	職業紹介 資格取得方法等

主催・お問合せ先

(福) 敦賀市社会福祉協議会（嶺南福祉人材バンク）TEL (0770) 22-3133
※ 嶺南福祉人材バンクの実施事業です。



～学校や公民館に出前して説明します！～ 福祉のしごとと訪問説明会

無料
です！

A 福祉のしごとと説明

身 近な“福祉”の話や福祉に取り組むことの意義、魅力について学んでいただきます。

ま た、さまざまな種類がある福祉の“しごと”の内容について知識を深めていただきます。

学校の教室や公民館等に講師を派遣します。

B 施設見学・体験

福 祉施設（介護保険施設など）での見学・体験を通じ、高齢者への配慮や仕事の大切さ、やりがいについて学んでいただきます。

近隣の福祉施設と日程や学習内容等についての調整を行います。
また、必要に応じて別途講師を派遣します。

C 介護出前講座

教 室や研修室で“介護”を体験し、家庭内やボランティアで活かせる知識や技術を習得し、介護についての理解を深めていただきます。

※ 福井県介護実習普及センターの事業です。左記の「A」と組合せて実施できます。

A・B・C は組合せて実施することも可能です。ご希望、学習内容により相談、調整させていただきます。

実施期間 平成 25 年度内（平成 26 年 2 月末まで随時受付）で申込者が希望する日時

対象者 県内の小・中学校の児童・生徒および保護者、教員または主婦や高齢者等の地域住民グループ

会場 申込者が用意する会場（教室、公民館等）または福祉施設（施設見学等の場合）

問
合
せ
先

福井県社会福祉協議会 福井県福祉人材センター

福井市光陽 2 丁目 3-22 福井県社会福祉センター内
TEL (0776) 21-2294 FAX (0776) 24-4187

インターネットサイト「福祉のお仕事」では、全国の福祉職場の求人を検索できます。

福祉のお仕事

http://www.fukushi-work.jp/



福祉サービスの質の向上のためのたゆまぬ取り組み

～「愛全園（特養）」における第三者評価結果概要～

今回、サービスの質の向上の一環として福祉サービス第三者評価に取り組みました特別養護老人ホーム「愛全園（福井市）」の主な評価結果および受審された施設のコメントを紹介いたします。なお、詳細は、本会ホームページに掲載していますので是非、ご覧ください。

愛全園（特養）

○福祉サービスの基本方針と組織について

施設内各部署において職員の意見を集約し新年度事業計画を立案した上で、毎年2月に開催する理事会等に諮っており、計画の進捗状況が職員会議等において定期的に行われている。また、施設長は経営や業務の効率化と改善に向け、課長・主任等の意見を聞きながら人事配置（採用）、職場環境の整備・改善に取り組んでいる。

○組織の運営管理について

施設が目標とするサービスを確保する上で必要とする人材について中期計画に明記し、介護福祉士など質の高い業務遂行に必要な資格取得に向けた個別職員育成計画を作成している。また、人事考課を全職員に説明し理解を得た上で客観的な基準に基づき、1次（自己）から3次（施設長）までの段階的な評価を行い、考課結果を職員個々にフィードバックしている。なお、巨大地震を想定した災害訓練計画を実施するとともに、隣接する医療機関との防災応援協定を締結している。

○適切な福祉サービスの実施について

アンケート等で利用者や家族の要望等を聞いており、介護者（家族）が孤立しがちであるという状況を踏まえ「介護者の集い」を設けるなど可能な限り支援に反映している。また、新人職員や異動職員に対し業務マ

ニュアルに関する研修を行うとともに、マニュアルに基づく方法により実施の可否を技術チェックリストを用い自己評価し、ユニットリーダーが確認している。

○高齢者福祉施設固有のサービス内容について

認知症専門医の往診があり、利用者個々の状態について相談でき、医師からの指導や助言はパソコンなどで記録され、職員間で情報を共有しており、新たな認知症アセスメントとして「ひもときシート方式」に関する学習に取り組むなど認知症利用者に対する適切な支援の確保に努めている。また、施設に隣接する病院との緊急医療体制を整えていることで、利用者、家族の安心につながっている。

《評価結果に対する関係者のコメント》

今回の評価結果に対し、まずは真摯に受け止めたいと考えております。

その上で、今後改善できるサービス内容から順次取り組んでいき、現在利用していただいている利用者様および今後利用していただける利用者様に少しでも喜んでいただけるサービス提供ができればと考えております。施設環境が新しく整備されましたが、まだまだ利用者様およびご家族からの意向が反映できていない部分も多々あるかと思えます。今後とも常に耳を大きくして様々な声に迅速に対応できるよう心掛けてまいります。



楽・らく介護講座

在宅で介護されている方はもちろん、介護に関心のある方、高齢者福祉施設でボランティア活動をしたいと考えている方に大変役立つ講座です。（参加費無料）



受講生募集

ご夫婦や、男性の受講生大歓迎！



テーマ	嶺北会場	嶺南会場
気持ちのよい排泄のお世話 オムツの種類やもれにくいあて方など、さりげなく、すばやく行うためのコツを学びましょう。	9月4日（水） 13:00～15:30	9月3日（火） 13:00～15:30
体の拭き方・部分浴・着替え等 体を清潔に保ち、すこやかに過ごせるよう、自宅で簡単にできる体の拭き方・着替え方等の方法を学びましょう。	9月27日（金） 13:00～15:30	10月2日（水） 13:00～15:30
腰痛にならないための体の起こし方 寝返り、起き上がり、立ち上がりなど、介護者に負担の少ない（腰痛にならない）移動介助の方法を学びましょう。	10月26日（土） 13:00～15:30	11月9日（土） 13:00～15:30
調理の工夫と食事の介助 高齢者は、食が細くなりがちで、噛む力やのみ込む力も弱くなります。おいしく、楽しく食べてもらう工夫を学びましょう。	11月21日（木） 13:00～15:30	12月2日（月） 13:00～15:30

会場

嶺北：福井県介護実習・普及センター

〒910-8516 福井市光陽 2-3-22（福井県社会福祉センター） TEL：0776-24-0086 FAX：0776-24-0063 E-mail：kaigo-f-shakyo.or.jp

嶺南：嶺南地域福祉相談・介護実習普及センター

〒917-0069 小浜市白鬚 112（つばき回廊業務棟 3階） TEL：0770-52-7832 FAX：0770-52-7834 E-mail：r-kaigo@f-shakyo.or.jp

申込み方法 受講希望の会場に、氏名・電話番号・年齢・希望のコースを、電話・FAX・Eメールにてお知らせください。

未来に笑顔



Profile

村岡 英明 さん (越前町)

(福) 光道園
理学療法士 19年目
(H7~H16介護職、H20~理学療法士)

このコーナーでは、「笑顔 (スマイル)」をキーワードに福祉職の方々に登場いただき、福祉の現場で活躍しているからこそ『見える』『言える』、福祉の魅力について語っていただきます。

福祉職に就いたきっかけ

幼い頃から機械いじりが好きで、エンジニアを目指し工学を専攻していました。卒業の時期を迎え将来の道について迷ったとき、子どもの頃、祖母が認知症を発症し、老人ホームに入所した記憶が蘇ってきました。

毎週、家族で祖母に面会に行きましたが、息子とは分からない母をおんぶしながら散歩をしている父の姿が強く印象に残っています。今思い起こすとそこが「福祉の道を志す」きっかけになっているんだと思います。



無力を痛感 (介護職時代)

ある時、股関節を骨折して、人工関節を挿入して退院した利用者の方のポータブルへの移乗介助を行いました。しかし、数日後、股関節が腫れ、「脱臼」していたことがわかって再入院となりました。

結果的に環境の変化で病院での食事が進まず、胃ろうとなりました。数年後にお亡くなりになりました。その時、自分のしたことが果たし

て良かったのだろうかと深く悩みました。

よかれと思ってしたことでも、意図しない結果を生むことを痛感した瞬間でもありました。

チームワークの大切さ (介護職時代)

以前、特別養護老人ホームに勤務していた頃に「ユニットケア」というものを知ったのですが、今までの効率的な介護から入居者一人ひとりの尊厳を重視し、個人の自立を尊重するという考え方に感銘を受けました。

そして、これを実現したい！と一人を取り組み始めましたが、周囲と何度もぶつかり、なかなか協力が得られません。しかし、何度も話し合いを重ねていく中で他のスタッフも悩み、「何とかしたい」という葛藤があることを知りました。福祉の仕事は一人ではできませんが、周囲の人と「共感」「協力」することで可能なことはたくさんあります。

プロとは

自分なりに一生懸命、仕事に向き合ってきましたが、正直なところプロを自覚できるようになったのは、



最近のことです。

それは、「目の前の方の生活が豊かになるよう、支援者として最大限の努力 (自分自身の知識・技術・自己管理能力・意欲を高めること) をすること、さらに関わりを通して、自分も成長させてもらっていることに気づくことができること」だと思っています。

人生のプロは利用者さんですから、そこからの学びこそ、この仕事のプロ意識への気づき(築き)になっていくのだと思います。

今の目標

地域社会と福祉について次世代の人たちにしっかりと伝えていけるようになること。まだまだですが自身の言葉でしっかりと語れるようになることです。

いつまでも柔軟性を持って様々なことに関わっていきたくと思っています。

取材を終えて

介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員の資格も取得し、現在は理学療法士という側面から生活支援に関わられている村岡さん。

「僕たちの支援は生活のほんの一部に関わるものなので、生活の全てに関わっている介護職の皆さんにはかないません」と話す笑顔がとても印象的な方でした。